

総務委員会資料

所管事務の調査（報告）

新本庁舎超高層棟新築工事の中間報告及び復元
棟新築工事の発注スケジュールについて

資料 新本庁舎超高層棟新築工事の中間報告及び
復元棟新築工事の発注スケジュールについて

令和2年11月12日

総務企画局

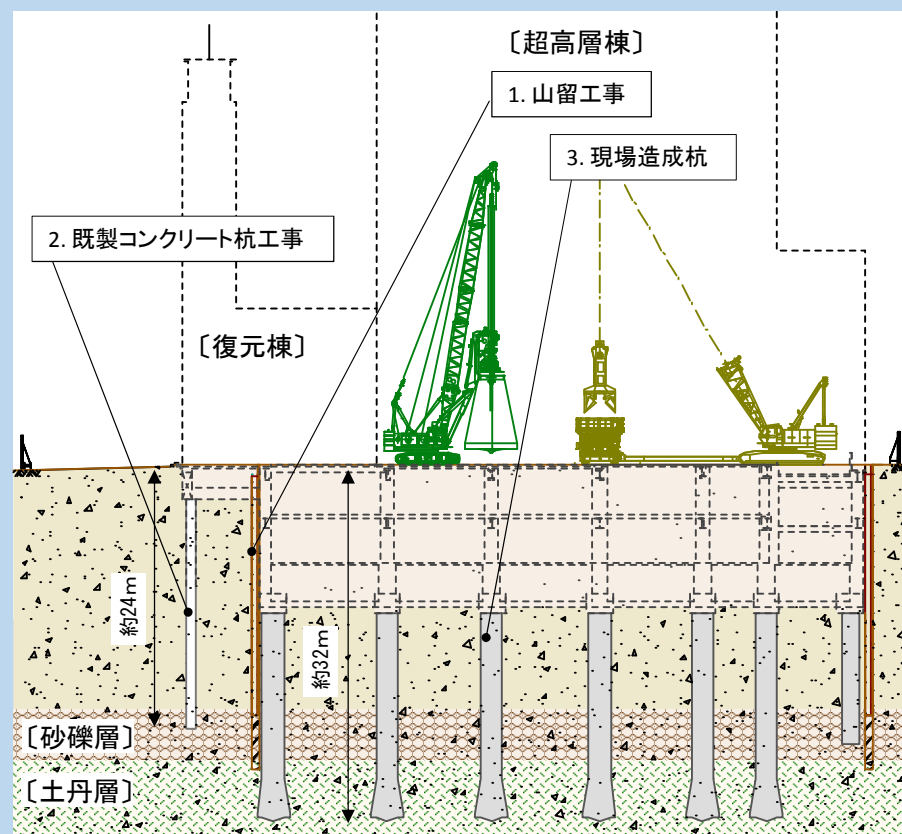
新本庁舎超高層棟新築工事の中間報告及び復元棟新築工事の発注スケジュールについて

【超高層棟新築工事のこれまでの経過】

- 4月23日 議決
- 5月1日 契約締結（昇降機設備のみ7日）
- 5月11日 現場乗込み
- 5月中旬 山留工事開始
- 8月上旬 既製コンクリート杭工事
- 8月下旬 現場造成杭工事



【全景写真 7月時点】



【断面図】

新本庁舎超高層棟新築工事の中間報告及び復元棟新築工事の発注スケジュールについて

【超高層棟新築工事の進捗状況】

1. 山留工事

地下掘削時の地盤崩壊を防ぎ、地下水を遮断する山留壁を、5月中旬から7月下旬にかけて施工

山留壁種別：ソイルミキシングウォール

壁厚：0.85m、造成深さ：28m、全長：約252m



【ソイル壁造成】



【芯材（H形鋼）建込】

新本庁舎超高層棟新築工事の中間報告及び復元棟新築工事の発注スケジュールについて

【超高層棟新築工事の進捗状況】

2. 既製コンクリート杭工事

超高層棟新築工事で施工する復元棟及びオイルタンクの既製コンクリート杭（合計19本）を、8月上旬から下旬にかけて施工

復元棟基礎杭：直径0.9m、長さ21m、11本

オイルタンク基礎杭：直径0.7m、長さ16m、8本

杭先端深さ：地盤面から約24m



【上部の杭】



【中央・下部の杭】



【杭建込】

新本庁舎超高層棟新築工事の中間報告及び復元棟新築工事の発注スケジュールについて

【超高層棟新築工事の進捗状況】

3. 現場造成杭工事

超高層棟基礎の現場造成杭（75本）を8月下旬から施工し、12月下旬に打設終了予定

工法：アースドリル拡底工法、直径：2.3m～4.8m（拡底部）

杭先端深さ：地盤面から約25m～32m



【ケーシング建込】



【ハンマーグラブ掘削】



【鉄筋建込】

新本庁舎超高層棟新築工事の中間報告及び復元棟新築工事の発注スケジュールについて

【超高層棟新築工事の進捗状況】

4. 地中障害物

山留や杭工事において、地中障害物が支障となり、若干の工程の遅れが生じている。

この地中障害物の撤去費、処分費等が増額となっており、年度内に変更契約を行う必要がある。

＜主な地中障害物＞

【昭和13年の新築時の仮設構造物】

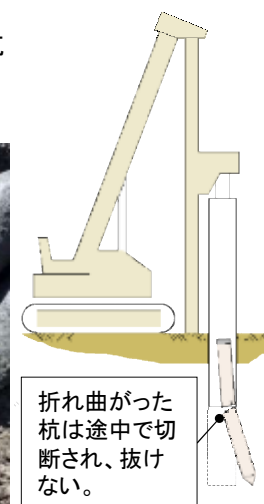


【記録に無い既製コンクリート杭】



【北館の残留杭】

昭和30年代の新築時の既製コンクリート杭が折れ曲がった状態で打ち込まれており、解体工事で抜けずに残った。



【模式図】

新本庁舎超高層棟新築工事の中間報告及び復元棟新築工事の発注スケジュールについて

【復元棟新築工事の発注スケジュールと予算措置】

- 今後、建築工事の発注手続きを開始して第4四半期に入札を行い、令和3年第2回定例会に議案提出する予定
- 令和3～4年度の債務負担行為に基づく発注を予定していたが、新型コロナウイルス感染症等の影響を考慮すると入札手続きを若干前倒しすることが望ましい。そこで、令和2年度の支出を0円とする令和4年度までの債務負担行為を新たに設定するため、令和2年第6回定例会に補正予算案を提出する予定

＜全体スケジュール＞

